（別紙２）

令和4年度　英語学習実施状況について　　金沢市立犀川小学校

①小学6年生　英語学習についてのアンケート（令和5年1月実施）

（%）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	54.0	32.0	12.0	2.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	51.0	49.0	0.0	0.0	0.0
問4	英語の授業の内容がわかる。	44.0	51.0	5.0	0.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	15.0	61.0	20.0	5.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	17.0	61.0	20.0	5.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	78.0	17.0	5.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	71.0	22.0	7.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	41.0	39.0	17.0	2.0	0.0

②指導改善の具体策（「英語教育に関する報告書（令和５年２月実施）」より）

・１～４年生の段階で「聞く」「話す」の活動を多く取り、様々な英語表現や英単語に慣れ親しませることで、５，６年生から始まる「読む」「書く」の活動に繋げられるようにしていく。
・４～６年生では、My dictionaryの取り組みを継続的に行い、書く力を身につけさせるとともに、思考の機会を増やしていきながら、英単語を身につけさせていく。

③学校関係者評価

・英語はあくまで手段であり、目的は自分の考えを相手に伝えることだと思う。5年生の時から、オーストラリアの学校の子供との文通をしていることは評価できる。これからも、このような取り組みを通して、相手意識を持ち、誰かに伝えるという目的意識をもった学習を進めることで、手段を身につけることの必要性を教えていってほしい。